

## 地域再生計画に係る事業の効果検証

### 1 白山から日本海まで 交流・連携・協働による活力あるまちづくり計画

計画期間	事業概要	担当課	交付金の種類	事業費(H28) [単位:円]	交付金等(H28) [単位:円]		
H24～H28	市道・林道等の整備事業	土木課	道整備	945,538,000	472,769,000		
評価	評価理由	次年度以降の対応方針			総合戦略推進委員 会の意見		
		区分	今後の方針				
地方創生に効果が あった	個別事業では、まだ継続していく 必要な路線があるため高い評価 とはいかなかった。	事業の継続	事業効果をさらに進めるため、すべての の事業の推進を図る。		無		
業績評価指標		単位	基準値	基準年月	実績値(H28)	目標値	目標年月
入込客数		万人	547	H24	499	607	H29.3
工業製品出荷額		億円	4,321	H24	5,835(H27)	4,796	H29.3
鶴来・白山地域からの時間短縮		分	57	H24	55	55	H29.3
間伐面積の増加		ha	58	H24	60	77	H29.3
林道施設の保全対策		路線	0	H24	1	1	H29.3

### 2 白山の恵み、人の交流、埋もれた資源を利活用した「白山おもてなし再生 プロジェクト」

計画期間	事業概要	担当課	交付金の種類	事業費(H28) [単位:円]	交付金等(H28) [単位:円]		
H27～H31	道の駅「めぐみ白山」における観 光情報コーナー整備実施設計	道の駅建設準備室	地域再生戦略	531,360	265,680		
評価	評価理由	次年度以降の対応方針			総合戦略推進委員 会の意見		
		区分	今後の方針				
地方創生に効果が なかった	「道の駅」めぐみ白山開業前であ り、効果が発現されていないた め。	事業の継続	平成30年春開業する「道の駅」めぐみ 白山を起爆剤とし、既存3駅(しらやま さん、瀬女、一向一揆の里)及び白山ろく へと観光客を誘導し、それぞれの道の 駅の魅力向上をはかる。		無		
業績評価指標		単位	基準値	基準年月	実績値(H28)	目標値	目標年月
既存道の駅への誘客		千人	257	H27	222	269	H32.3
観光地(施設)への誘客		千人	2,626	H27	2,516	2,757	H32.3
農産物の生産量の向上		t	1,401	H27	1,428	1,415	H32.3
農産物の生産額の向上		千円	244,393	H27	294,526	246,836	H32.3

### 3 白山の恵みと産業基盤を活かした雇用拡大と人材確保推進事業

計画期間	事業概要	担当課	交付金の種類	事業費(H28) [単位:円]	交付金等(H28) [単位:円]		
H28～H30	合同就職説明会事業	商工課	企業版ふるさと納税	788,573	100,000		
評価	評価理由	次年度以降の対応方針			総合戦略推進委員 会の意見		
		区分	今後の方針				
地方創生に効果があった	参加企業数もH27と比べ3社増加し、売り手市場である中、参加学生もH27並みの参加者を確保できている。	事業の継続	合同就職説明会を継続して実施し、市内中小企業への人材確保を図る。		無		
業績評価指標		単位	基準値	基準年月	実績値(H28)	目標値	目標年月
雇用拡大と人材確保による市内就職者数(累積)		人	0	H26	19	19	H31.3

### 4 白山開山1300年を契機とした白山ブランド確立計画

計画期間	事業概要	担当課	交付金の種類	事業費(H28) [単位:円]	交付金等(H28) [単位:円]		
H28～H30	白山開山1300年記念PR戦略事業	観光課	地方創生推進	10,143,907	5,000,000		
評価	評価理由	次年度以降の対応方針			総合戦略推進委員 会の意見		
		区分	今後の方針				
地方創生に相当程度効果があった	平成28年度は白山開山1300年のPR期間と捉え、白山及び白山市の知名度の向上につながったと思われる。	追加等更に発展させる	白山開山1300年の機運をさらに高めるため、既存事業規模を拡大し、さらに市民参加の検定事業や文化事業を盛り込むことで誘客の促進、PRの強化を目指す。		無		
業績評価指標		単位	基準値	基準年月	実績値(H28)	目標値	目標年月
観光入込客数		人	5,185,144	H27	4,992,674	5,400,000	H31.3
着地型観光商品採用件数増(累計)		件	65	H27	118	187	H31.3

### 5 霊峰白山の恵みと大地の物語（ジオパーク）を活用した「オール白山」活性化事業

計画期間	事業概要	担当課	交付金の種類	事業費(H28) [単位:円]	交付金等(H28) [単位:円]		
H28～H30	道の駅「(仮称)白山」運営事業 6次産業化チャレンジ支援事業 展示・情報発信施設等整備	道の駅開設準備室 地産地消課 道の駅建設準備室	地方創生推進	7,963,868	3,976,709		
評価	評価理由	次年度以降の対応方針			総合戦略推進委員 会の意見		
		区分	今後の方針				
地方創生に相当程度効果があった	道の駅が開業前であるため、KPI上の効果は表れていないが、事業者に対し6次産業化への取組の意識づけができ、H28年度の「6次産業化チャレンジ支援事業」に対し、7件の申請があった。(採択は2件) 天候等の影響により、観光施設の入込客数が伸び悩み、道の駅の利用者数に影響した。一方、農作物の作付面積はほぼ計画どおり推移した。	事業内容の見直し(改善)	市内産農林水産物の6次産業化の推進は、本市の産業振興に大きな効果をもたらすため、道の駅開業後も継続して取り組んでいくこととする。 道の駅「めぐみ白山」のPRを強化することで、地域の活性化及び市全体の交流人口の拡大を図る。 平成30年春開業予定の「道の駅」めぐみ白山を起爆剤とし、既存3駅(しらやまさん、瀬女、一向一揆の里)及び白山ろくへと観光客を誘導し、それぞれの道の駅の魅力向上を図る。		無		
業績評価指標		単位	基準値	基準年月	実績値(H28)	目標値	目標年月
道の駅利用者		人	257,000	H27	222,000	640,000	H31.3
農作物の作付面積		ha	37	H27	53	64	H31.3